

医用画像の機械学習用データベース構築

1. 研究の対象

自治医科大学附属病院眼科・自治医科大学附属さいたま医療センター眼科・自治医科大学健診センター・青木眼科医院・おおくぼ眼科・斎藤眼科医院・たかはし眼科・JCHO 東京新宿メディカルセンター・横浜南共済病院・茨城西南医療センター病院・岡波総合病院・鹿児島大学・三重大学・山梨大学・シンガポール大学・旭川医科大学・大宮七里眼科・きくな湯田眼科・ハートライフ病院・金沢大学・ツカザキ病院・大宮はまだ眼科・聖隷浜松病院・羽生田眼科医院にて2002年1月1日から2027年12月31日までの間に日常診療で撮影した眼科画像を撮影した患者さんを対象とします（自治医科大学健診センターにつきましては健康診断で撮影した眼科以外の医用画像も含まれます）。

2. 研究目的・方法

<目的>

上記施設の眼科画像(自治医科大学健診センターは医用画像)を人工知能が学習し、新規の診断補助・治療方針決定補助を開発します。

<方法>

2002年1月1日から2027年12月31日までの間に日常診療で撮影した眼科画像を1の施設にて2027年12月31日まで継続して収集し、診療録から性別・年齢・視力・屈折・眼圧・所見・診断・治療内容を調査します。自治医科大学健診センターにつきましては、上記に加え、胸部X線・マンモグラフィー・CT（頭部・胸部・腹部）・EGD（上部消化管内視鏡）・腹部超音波・乳腺超音波・MDL（上部消化管バリウム造影）・ECG（心電図）も調査します。収集した画像と情報を、自治医科大学眼科・茨城西南医療センター病院・岡波総合病院・鹿児島大学・三重大学・山梨大学・国立情報学研究所・株式会社NitroSquare・DeepEyeVision 株式会社・ポルトガル大学・シンガポール大学・旭川医科大学・ツカザキ病院・テネシー大学の人工知能が継続して学習します。

人工知能は動物の脳を人工的に模したもので、大量のデータを学習すると写真に何が写っているかなどを判定できるようになります。

1の情報収集する施設は、眼科画像(自治医科大学健診センターは医用画像)と調査した情報を可能な範囲で自治医科大学に提供し、自治医科大学は自施設のデータと提供された他施設のデータを自治医科大学眼科で管理するデータベースに保管します。

また、上記の人工知能の学習を行う施設は、自治医科大学に必要なデータを希望し、自治医科大学は希望のあったデータをデータベースから出力させ電子的に提供し、各施設はその提供された情報を用いて機械学習を行います。

<期間>

2018年7月5日から2028年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：眼科画像・性別・年齢・視力・屈折・眼圧・所見・診断・治療内容

また、研究対象の一部の施設(自治医科大学健診センター)では、以下も含まれます。

胸部X線・マンモグラフィー・CT(頭部・胸部・腹部)・EGD(上部消化管内視鏡)・

腹部超音波・乳腺超音波・MDL(上部消化管バリウム造影)・ECG(心電図)

4. 個人情報の取り扱い

診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が氏名等個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えて匿名化して研究に使用します。他の施設から自治医科大学にデータが送られる際は、新しい符号と個人を特定する対応表は送られないので自治医科大学では誰のデータか分かりません。データは研究責任者が眼科学部門においてパスワードを設定したデータベースに記録し、厳重に保管します。保管と人工知能は安全性の第三者認証を取得したクラウド(インターネット上のコンピュータ：エクストリーム-D社, Amazon, Google, Microsoft)を用いる場合があります。対応表は撮影を行った各施設で同様に厳重に保管されます。クラウドの使用や企業を含む共同研究先へは匿名化されたまま送付され対応表は送らないため、送付先では誰の物か分からないまま保管あるいは人工知能が学習します。研究成果の公表についても、個人を特定できないようにして報告します。

<企業紹介>

- ・株式会社 NitroSquare：人工知能を活用したシステム開発の会社
- ・エクストリーム-D 株式会社：国内のクラウド提供会社
- ・DeepEyeVision 株式会社：医療用人工知能を開発する会社

5. 外部への試料・情報の提供

自治医科大学から人工知能を使う上記各施設とクラウドへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的に配信します。対応表は、撮影をした各施設の研究責任者が保管・管理し送付しません。

6. 研究組織

自治医科大学：川島秀俊 自治医科大学附属さいたま医療センター：梯彰弘 自治医科大学健診センター：宮下洋 青木眼科医院：青木真祐 おおくぼ眼科：大久保彰 斎藤眼科医院：斎藤信一郎 たかはし眼科：高橋雄二 JCHO 東京新宿メディカルセンター：間山千尋 横浜南共済病院：林孝彦 茨城西南医療センター病院：大上智弘 岡波総合病院：松井良諭 鹿児島大学：園田祥三 三重大学：一尾享 山梨大学：柏木賢治 国立情報学研究所：喜連川優 株式会社 NitroSquare：島田圭 DeepEyeVision 株式会社：高橋秀徳 ポルトガル大学：Aurélio Campilho シンガポール大学：柳靖雄 旭川医科大学：柳靖雄 大宮七里眼科：山崎健一郎 きくな湯田眼科：湯田健太郎 ハートライフ病院：親川格 金沢大学：

小林顕 ツカザキ病院：田淵仁志 テネシー大学：Siamak Yousefi 大宮はまだ眼科：濱田直紀 聖隷浜松病院：尾花明 羽生田眼科医院：羽生田直人

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記のそれぞれの施設の研究責任者、研究分担者にお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

自治医科大学健診センター

研究責任者：

職名： 教授

氏名： 宮下 洋

電話番号： 0285-44-9091

e-mail: hrsm@jichi.ac.jp

研究代表者：

自治医科大学眼科学講座 川島 秀俊

苦情の宛先

自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門

電話番号： 0285-58-8933